

PPIHグループのESGの取り組み

社会への取り組み

働きがいのある職場環境整備



▶ 「働きやすさ」と「働きがい」を両立する企業グループへ

従業員が安心して全力で働けるよう、「労働環境改善チーム」を立ち上げてアンケートや個別ヒアリングなどでグループ全体及び個人の問題点を把握し、労働環境の改善に取り組んでいます。長時間通勤が発生している場合は配置転換により改善を図り、現在と異なるキャリアを希望する場合は、多様なキャリア形成を実現する「社内転職制度」を構築するなど、新たな仕組みづくりも行っています。

また、社内転勤制度、単身赴任の見直し、有給取得、女性の働き方などについても、グループ全体として問題を整理して、それぞれプロジェクトとして改善と対応に取り組んでいます。今後も、従業員一人ひとりが安心して声を上げられる労働環境の構築と、「従業員の声」を軸に据えた問題整理と改善対応に取り組み、「働きやすさ」と「働きがい」を両立した企業をめざします。



「現場向けアンケート」回答に対する主な取り組み

- 人事、キャリアに関する相談窓口「人財キャリアコール」を新設
- 毎月、全従業員向けに就労満足度に関するアンケートを実施
- 就業満足度が低い従業員に個別ヒアリングを実施
- 長時間の通勤時間発生者に対する配置先変更対応
- 問題解決に向けた関係部署への改善提案 など

人財の育成



▶ 「ドンバト」で働く学生のやる気を支援

ドン・キホーテには、メイト(アルバイト従業員)が仕入れ・販売価格・売り場づくりを考えて実行することができ、やりたいことを具現化できる環境があります。

その支援策の一つとして、若い発想力や表現力が期待できる学生メイトを対象に、スキルアップを目的としたイベント「ドンバト」を2020年より開催しています。これは、他店舗の学生メイトと、ディスプレイの工夫といった課題をゲーム感覚で楽しみながら競い合う

ものです。受賞者を表彰することで、PPIHグループの未来を担う「若き情熱と力」の成長をサポートしています。

このように、メイト、社員ともに権限を持ち、切磋琢磨しながら働ける環境が生み出す力こそが強みであり、今後もこうしたドン・キホーテらしい施策を通じて、人財の獲得・育成に努めていきます。



- 開催実績 **2**回
- エントリー総数 **1,083**名
- MVP受賞者数 **52**名



ダイバーシティの推進



▶ 多様な個性を尊重し、お客さまがお買い物しやすい店舗をめざして

当社グループは、人々の多様な個性を尊重し、お客さまがお買い物しやすい店舗、そして従業員が働きやすい職場環境をめざし、ダイバーシティを推進しています。

性的マイノリティに対する従業員の理解浸透を図るため、2016年6月にLGBTQプロジェクトを発足。2017年にはダイバーシティ推進室として本格的に活動を開始し、各拠点や店舗においてダイバーシティ研修を実施しています。従業員の意識を高め、自社内の多様性の容認を推進することで、すべてのお客さまに喜んでいただける店舗づくりにつなげています。こうした取り組みは、企業におけるLGBTQに関する取り組みを評価するPRIDE指標において、2018年から3年連続で最上位のゴールドを受賞しました。

さらに現在、「労働環境改善チーム」と連携した「妊娠・出産・時短等ライフイベント時のフォロー体制」への取り組みや、外国籍人財に向けた先輩社員との座談会企画など、すべての従業員が多様性を認め合い、信頼・尊敬し合える職場環境づくりをめざしています。



地域コミュニティとの対話強化



▶ お客さまと接点を多く持つ小売業の特長を活かした教育支援

子どもたちの職業観の育成に寄与するため、ドン・キホーテでは商売を通じて働くことの楽しさや責任感を体感してもらい学習の機会を「商育®」と名づけ、全国の当社グループ店舗で実施しています。2020年6月期は小中学生を中心に208校、1,661名の子どもたちを受け入れました。

また、ユニーでは東海エリアを中心に地域とのコミュニケーションを図る出張講座を開催しています。「地球にやさしいお買い物講座」をテーマに講義を行うなど、環境に関する教育支援に取り組んでいます。

